

## 「母間小学校の池間棒踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

徳之島町立母間小学校

### 2 学年・人数

3年生から6年生及び職員（計31人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和5年7月～9月 総合的な学習の時間（6時間）

母間小学校体育館及び校庭

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年9月17日（日）

徳之島町立母間小学校 第76回秋季大運動会

母間小学校校庭

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

池間棒踊り（いけまぼうおどり）

#### (2) 由来

大正時代、下久志の青年たちが仕事の関係で奄美大島の龍郷町屋入鉦山で働いていた時、その鉦山で同じく鹿児島から来ていた鉦山師が祝いの席などで勇ましい棒踊り披露した。下久志の青年たちは、その魅力に惹かれ、棒踊りを習得し帰島した際に様々な行事で棒踊りを踊った。池間の青年たちもその踊りに惹かれ、棒踊りを習得し、「池間棒踊り」を完成させた。（昭和63年10月15日町指定無形民俗文化財に指定）

#### (3) 構成等

4人一組であるが、赤組、白組と2人ずつに分かれて踊る。2部構成で、前半は赤白どちらも長い棒を持って踊る。後半は白組だけが短い棒に持ち替えて踊る。

保存会の歌い手があり、その歌に合わせて勇ましい棒を打ち合わせたり、相手が振り下ろす棒を受けたりする動作を、隊形を変えながら行う。

### 5 保存会や地域との連携の具体

平成14年、創立100周年記念式典で披露したのを機に毎年運動会で児童とプログラムに位置付けて踊っている。「池間棒踊り」を総合的な学習の時間で学習する際は、「池間棒踊り保存会」の方がゲストティーチャーとして踊りの形を指導したり歌を歌ったりしながら練習に関わってくださっている。本番の秋季大運動会では、一緒に参加して太鼓や歌、かけ声を担当してくださっている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

ふるさと教育として総合的な学習の時間の6時間を使い、伝承活動を行っている。昨年度の動画を視聴したり保存会の方の歌を録音して活用したりと、自分たちだけでも練習ができるような体勢を整えている。また、練習の際は、上学年の子供が、初めて踊り

に参加する学年をサポートする場を設定した。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【棒を担いで入場】



【運動会では保存会の方の歌で披露】



【前半：どちらも六尺棒を使用】



【後半：白組は三尺棒に持ち替えて】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【6年生児童】

- 棒を持つ場所、棒の受け方、受けた後の打ち返し方など、とても難しいですが、4年間踊り続けることができ、とても嬉しかったです。また、下学年に教えることで伝統を受け継ぐ大切さを知ることができました。中学生になっても棒踊りをしたいと思いました。

### 【教職員】

- 池間棒踊り保存会の方々のご指導のもと、地域に伝わる郷土芸能を踊ることができました。職員も一緒に踊りながら、子供たちとともに改めて地域のよさを感じることができました。これからもこの伝統を守って行ってほしいと思います。

### 【保存会から】

- 運動会で毎年継続して取り組んでもらい、嬉しく思います。6年生にとっては、3年生から取り組み、4年間とても上達しているのが伝わります。毎年、伝統が受け継がれており、池間棒踊り保存会としても嬉しい限りです。

### 【保護者から】

- 母間に伝わる伝統芸能を運動会の場で披露するのは、とてもいい取組だと感じました。子供たちにとって自分たちの住む地区に伝わる伝統芸能を知るととてもいい経験になり、伝統を絶やさずに受け継ごうという思いは、郷土愛にもつながると感じます。ぜひ、これからも続けて行ってほしいです。